

教科(科目)	工業（インテリア計画）	単位数	3単位	学年(コース)	3年（産業デザインコース）
使用教科書	実教出版株式会社 『 インテリア計画 』				
副教材等	なし				

1 グラデュエーション・ポリシー及びカリキュラム・ポリシー

○グラデュエーション・ポリシー（育成を目指す資質・能力に関する方針）
～卒業までにこのような資質・能力を育みます～ ①主体的に課題を見つける感覚を養い、自ら学び、解決策を創造する資質・能力と産業社会で求められる倫理観と規範意識を育成します。 ②生涯にわたって学び続ける意欲を養い、新たな産業に柔軟に対応する自己指導力を育成します。 ③国際的視野に立って考える姿勢を養い、地域の発展と豊かな暮らしに貢献するために必要な思考力、発想力を育成します。
○カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成及び実施に関する方針）
～上記の資質・能力を育成するため、このような教育活動を行います～ ①共通教科の学びを強化して、基礎学力の定着を図ります。 ②工業高校で学ぶ基本的な知識や技術を習得し、課題研究や新しいIT技術について、主体的な学び方と実践する場を設定します。 ③将来、国内・国際社会で活躍するために必要なコミュニケーション能力や英語力の向上を図り、多様な価値観を持つ仲間との協働的学習を行います。

2 学習目標

インテリアの造形と心理、インテリアの環境、インテリアと人間工学、規模計画と寸法計画、インテリアエレメント、各種空間の計画などのインテリア計画に関する基礎的な知識と技術を習得させ、建築空間の設計において外部空間(外観)とともに内部(インテリア)空間の重要性を理解し、計画する能力と態度を育てる。
--

3 指導の重点

インテリアデザインの発想の仕方、スケール感、素材・色感・ディテール等を学び、インテリア空間を作り上げていくことを習得させ、実際に活用する能力を育てる。

4 評価の観点の趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
インテリア計画の基礎的な知識を理解している。理解した内容をもとに、計画することができる。実習や製図等の関連科目に活用できている。	さまざまな問題に対して、授業を通じて得た知識を用いて的確に思考し判断している。伝わり分かりやすい図面表現が出来ている。	積極的に発問し、授業中の意欲・態度を良好にしている。積極的に問題を解き、演習プリントを提出している。

5 評価基準と評価方法

評価方法	各観点における評価方法は次のとおりです。		
	知識・技術	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	以上の観点を踏まえ、 ・定期考査 ・提出物 などから、評価します。	以上の観点を踏まえ、 ・定期考査 ・提出物 などから、評価します。	以上の観点を踏まえ、 ・授業への取り組み ・定期考査 ・提出物 などから、評価します。
	内容のまとまりごとに、 各観点「A:十分満足できる」、「B:おおむね満足できる」、「C:努力を要する」 で評価します。内容のまとまりごとの評価規準は授業で説明します。		

6 学習計画

月	単元名	授業時数 と領域	教材名	学習活動(指導内容)	時間	評価方法
4 5 6 7 8	インテリア計画 の概要 インテリアの 造形と心理 インテリアの 環境	39 インテリア の概要	インテリアの概念 インテリア計画 生活と住まい 住まいの形態 空間の認知 空間行動の諸相 屋外環境 屋内環境	インテリア計画の意義、生活と住 まいの歴史及び住まいの特性を理解す る。 人間の視覚、聴覚及び触覚の特性と 想像要素の知覚を理解するととも に、インテリアの形態、色彩及びテク スチャが人間の感覚に与える影響 を理解する。 気温や日照などの野外の気象変化と インテリアの関係を理解する。	39	出席状況 授業態度 ノート提出 課題提出状況 等 中間考査 期末考査
9 10 11 12	インテリアと 人間工学 寸法計画と 規模計画	49 空間の 設計	人間工学、 人体寸法 動作・作業域・ 動作空間 他 空間の目的と規模 寸法計画 他	災害に対する安全性やユニバーサル デザインについて理解する。 空間規模、施設規模及び規模決定の 方法を理解し、空間の寸法計画にお いて配慮すべき人体寸法、知覚特性、 気候や風土、地域性及び敷地条件に ついて理解する。	49	出席状況 授業態度 ノート提出 課題提出状況 等 中間考査 期末考査
1 2 3	インテリア エレメント 各種空間の 計画	17 空間の 設計	インテリアエレメン トの種類、計画 住宅、事務所 商業施設 その他の施設	インテリアエレメントの種類を覚 え、家具、カーテン、カーペット及び 照明器具などを利用した計画を習得 する。 具体的な設計例を扱い、商業施設、教 育・文化施設の計画を習得する。	17	出席状況 授業態度 ノート提出 課題提出状況 等 学年末考査

計 105 時間 (50 分授業)

7 課題・提出物等

・知識の定着を図るため、課題・レポートなどの提出物を求めます。

8 担当者からの一言

2年次に学習したデザインの基礎をベースに、さらに知識を深める。座学を中心とした科目であるが、学習項目に応じ補助教材を取り入れながら授業を進めます。